

教団・教派、宣教団体

理事長・事務局、宣教部門担当各位

『JCE7 東海宣言（仮称）』作成へのご協力をお願い」

秋冷の候、長く続きましたコロナ禍も徐々に落ち着く気配となり、新たな宣教の歩みを開始されておられることと思います。皆様の働きが実りよきものとなるようにお祈りいたしております。

さて、JCE7（第七回日本伝道会議）実行委員会・開催地委員会・プログラム局では、JCE6の「リビジョン」の流れを受け準備を進める中、今回の日本の社会や教会に大きな変化をもたらしたコロナ禍に直面し、これを「リセット」とも言いうる明らかな主のご介入と受け止め、「リビジョン」において、主の深きみこころにこそ、共に心を向け、聴き、受け止めていく大切な時にしたいと考えるに至りました。

従来であれば、宣言文は、指導者や専門家によって話し合っ作られていくところですが、本会議においては、2023年9月、岐阜市長良川国際会議場を主会場として開催される伝道会議に至るまでの準備過程において、すべての牧師、信徒の方々と共に語り、祈り、神のみこころを探る中で明らかにしてまいりたいと思っています。

そこで皆様には、大変お手数をおかけするのですが、別紙でご案内します、具体的な手順に沿って、皆様の声を所定のウェブサイトにお寄せいただけますように、心よりご協力をお願い申し上げます。寄せられた皆様の声は、プログラム局で整理分析され、さらに東海宣言作成委員会（委員長赤坂泉師によるチーム）によって聖書的に検討を加えられて、2023年7月、日本伝道会議前に出版される予定です。そして会議では、皆で共有できた主のみこころを、東海宣言（仮称）として確認し、一つ心になって新たな一歩を踏み出す時としてまいりたいと思います。

本年、カトリック教会でも、世界13億の信徒の声に耳を傾け、新たに宣教の歩みを進めていきたい旨、発表されたと聞きました。神様がこの時代に介入されていることを思わせる霊的な動きです。日本伝道会議もまたキリスト教会の総力として実りあるものとなるように、ぜひ、皆様の声を、どのような小さなことでも、設問にそってお寄せいただければと思います。以上ご協力をよろしくお願い申し上げます。

2021年11月25日

JCE7日本伝道会議実行委員会委員長 小平牧生

JCE7プログラム局局长 中西雅裕

JCE7プログラム局宣言文担当 福井誠

諸教会の牧師・役員・信徒の皆様

『JCE7 東海宣言（仮称）』作成へのご協力をお願い」

秋冷の候、長く続きましたコロナ禍も徐々に落ち着く気配となり、新たな思いを持って宣教を進めておられる教会も多いことでしょう。皆様の主にある働きが豊かに実を結びますように、とお祈りいたしております。

さて、JCE 7（第七回日本伝道会議）実行委員会・開催地委員会・プログラム局では、JCE 6の「リビジョン」の流れを受け準備を進める中、今回の日本の社会や教会に大きな変化をもたらしたコロナ禍に直面し、これを「リセット」とも言いうる明らかな主のご介入と受け止め、「リビジョン」において、主の深きみこころにこそ、共に心を向け、聴き、受け止めていく大切な時にしたいと考えるに至りました。

従来であれば、宣言文は、指導者や専門家によって話し合っ作られていくところですが、本会議においては、2023年9月、岐阜市長良川国際会議場を主会場として開催される伝道会議に至るまでの準備過程において、すべての牧師、信徒の方々と共に語り、祈り、神のみこころを探る中で明らかにしてまいりたいと思っています。

そこで皆様には、大変お手数をおかけするのですが、別紙でご案内します、具体的な手順に沿って、皆様の声を所定のウェブサイトにお寄せいただけますように、心よりご協力をお願い申し上げます。寄せられた皆様の声は、プログラム局で整理分析され、さらに東海宣言作成委員会（委員長赤坂泉師によるチーム）によって聖書的に検討を加えられて、2023年7月、日本伝道会議前に出版される予定です。そして会議では、皆で共有できた主のみこころを、東海宣言（仮称）として確認し、一つ心になって新たな一歩を踏み出す時としてまいりたいと思います。

本年、カトリック教会でも、世界13億の信徒の声に耳を傾け、新たに宣教の歩みを進めていきたい旨、発表されたと聞きました。神様がこの時代に介入されていることを思わせる霊的な動きです。日本伝道会議もまたキリスト教会の総力として実りあるものとなるように、ぜひ、皆様の声を、どのような小さなことでも、設問にそってお寄せいただければと思います。以上ご協力をよろしくお願い申し上げます。

2021年11月5日

JCE 7 日本伝道会議実行委員会委員長 小平牧生

JCE 7 プログラム局局长 中西雅裕

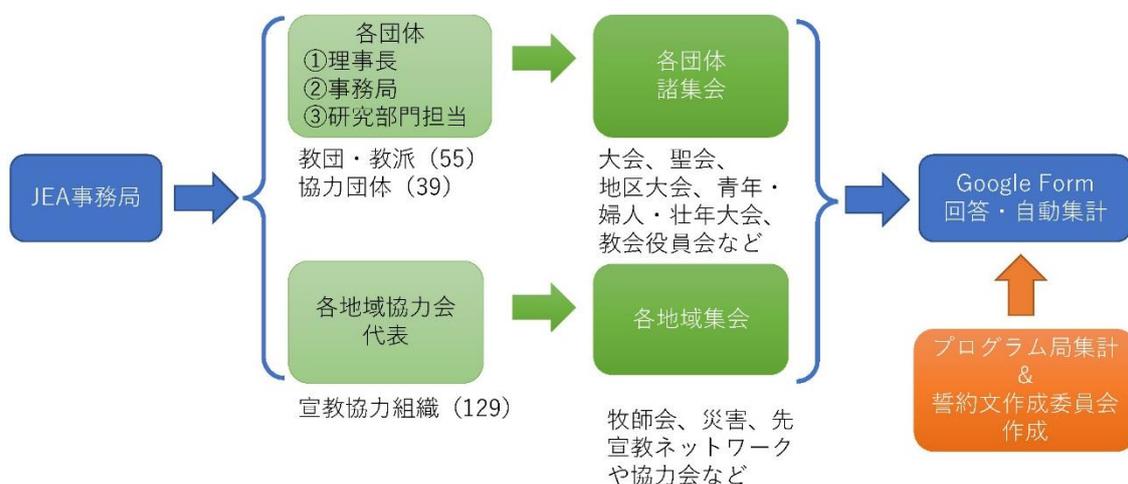
JCE7 プログラム局宣言文担当 福井誠

別紙：＜具体的な手順＞

1. 「東海宣言（仮称）」作成の流れ

- 1) 本依頼は、JEA事務局より、各教団・教派、協力団体、そして、各地域にある宣教協力組織の理事長、代表、事務局へ送られます。
- 2) それを受けて、大会、聖会、地区集会、信徒会、牧師会、役員会など団体レベルでの諸グループで、また壮年会、婦人会、青年会などの教会レベルでの諸グループで、ディスカッションを開始してください。各地区協力会では、地区ごとの諸グループでディスカッションをお願いいたします。

JCE7宣言文（誓約文）作成プロセス



- 3) ディスカッションのまとめは、グーグルフォームの所定のサイトに入力をしていただくようお願いいたします。これを、JCE7プログラム局が分析、整理し、東海宣言作成委員会（仮称）（委員長赤坂泉師によるチーム）が、聖書的な観点から、皆様と共に作り上げる誓約文として完成させます。

2. 東海宣言文作成資料、提出の手順

そこで、このお手紙をいただいた、諸集会のおよび諸ネットワークの代表の皆様には、ぜひ、以下の手順で、東海宣言文作成資料の各所属宣教グループ、教会への提供のご協力をお願いいたします。

- 1) 「東海宣言（仮称）」主旨説明ビデオを視聴してください。

まず、コンセプトビデオを視聴してください（8分程度）。ビデオのアドレスは次のとおりです。➔ https://www.youtube.com/watch?v=9LxDINOnt_0&t=21s

QRコードをご利用の場合はこちらです。➡



2). 回答フォームにアクセスし、諸グループにおいて、設問への回答をまとめてください。
次に、以下の四つの設問について、忌憚のないご意見を交わし、それぞれ 500 字以内にまとめてください。

(1) 2030 年、私たちの宣教の働きはどのようになって欲しいと思うか（一般的な内容ではなく、ご自分の教会、また団体の事情に合わせてお書きください）

(2) そのために何を大事にすべきか？

(3) そのために、何を終わらせたらいいのか？

(4) そのために、何を始めたらいいのか？

3) 所定のサイトから回答を記入してください。

話し合った結果のまとめについては、以下のグーグルフォームのサイトから記入してください。個人で回答することもできます。➡<https://forms.gle/7FA2e5StvdVkJoiP9>



QRコードをご利用の場合はこちらです。➡

以上回答期限は、勝手ながら 2022 年 3 月 31 日までとさせていただきます。お忙しいところ皆様にはお手数をおかけし、大変恐縮ではありますが、なにとぞプロテスタント福音派の未来を形作る東海宣言作成のために、よろしくご協力のほどお願い申し上げます。

なおこの依頼について何かご質問・ご意見がありましたら、ご面倒でも JCE7 プログラム局担当の福井誠（research@thousandtimesbless.com）までご連絡をお願いいたします。

以上よろしく願いいたします。

以上